



特集

RAINBOW みんな違う。それでいい

— 知っていますか？ LGBTのこと —

● 問合せ 男女協働推進課 (☎ ☎ 2 1 1 5)

6色のレインボーカラーは、性の多様性の象徴です

LGBTとは、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の総称の1つです

L esbian レズビアン	女性を好きになる女性
G ay ゲイ	男性を好きになる男性
B isexual バイセクシュアル	男女どちらも好きになることができる人
T ransgender トランスジェンダー	身体の性と心の性が異なる人

※すべての性的少数者が上記の4つに分類されるわけではありません。このほかにも、アセクシュアル（恋愛感情や性的指向がない人）やクエスチョニング（性自認や性的指向が定まっていない人）などもいます。

近年、マスメディアなどでよく登場するようになったLGBTという言葉。社会の関心が向いている証拠だと言えます。しかし、私たちはLGBTのことを正しく理解しているでしょうか。当事者がどのようなことに悩んでいるか、困っているか、相手の気持ちになつて考えることができていますでしょうか。

まだまだ一般的には認知され始めたばかりで、さまざまな問題があると思われまふ。今回の特集では、当事者の実際の体験などを聞きながら、生活の中での悩みことや、カミングアウトを受けたらどうすればいいのかなどについて、考えていきます。

生活の中で感じていることは？

「当事者と話してみます」

LGBTについては、皆さんもある程度の知識があると思いますが、当事者は実際にどのような思いで生活しているのでしょうか。また、マインリテイの問題に関心が深いと思われる、まちづくりや学校教育などに携わる皆さんは、どのように考えているのでしょうか。グループで対談をしてもらいました。

対談の参加者

LGBT当事者

- ◆**原 亮さん**
・佐賀LGBT支援団体
A O * A Q U A 代表
- ◆**健崎 まひろさん**
・佐賀LGBT支援団体
A O * A Q U A スタッフ

市民の皆さん

- ◇**川原 フジエさん**
・市男女協働参画懇話会「いまりプラザ」会長
- ◆**山本 和良さん**
・人権擁護委員協議会会長
- ◆**古川 由紀さん**
・いまり女性ネットワーク
副代表
- ◆**村上 武大さん**
・NPO法人まちづくり伊萬里
副理事長
- ◆**立部 雅恵さん**
・中学校教諭



今は声を上げる時代

◇**川原** どんな社会にした
ら、LGBTの人たちも含
め、誰もが自分らしく暮ら
せるようになるか、自由
に発言していただきたい。

◆**村上** LGBTの人がま
ちへ出かけやすくなるた
めに、こんなふうだったら
いいというのがありますか。

◆**原** 公共の場所では一番に
トイレの話になりますね。
男性か女性かにかかわらず
使えるトイレはあります
が、そこに『車椅子マーク』
などが書いてあると、そう
じゃないなあと思って、
入るのをためらいます。だ
から誰でも入れる『誰でも
トイレ』というのをもち



どんなまちになったらいいかを聞く村上さん

作ってもらえたら助かりま
すね。

◆**村上** そんなトイレなら、
みんなが何も気にせず使え
ますね。基本的にはLGBT
だということが分かって
しまおうとだめなんですか。

◆**原** 一番いいのは、カミン
グアウトしてもしなくても
生活しやすいことなんです
が、今はカミングアウトし
ていないといういろいろ不便な
ところがあって、はつきり

言わないと解決しないのが
現状です。でもカミングア
ウトしていない人ももちろ
んいて、それはそれでいい
と思いますが、今はやはり
声を上げて変えていく時代
なのかなと思います。

意識することが変わる

◆**古川** 2年ほど前に、ある
アンケートの結果を見て、
性別に違和感があるという
回答が思った以上に多かつ
たことに驚きました。でも、
じゃあ私たちに何ができ
るかという悩んでしまいま
す。最近の状況はどうで
しょうか。

◆**原** メディアで取り上げら
れる機会が増えて、小さい
子どもたちが、「自分もし

かしたらそうなのかな」と
気付くきっかけになってい
ると思います。外国の保育
所などでは、子どもがいろ
いろな衣装に着替えて遊ん
だりするときに、男女に関係
なく好きな衣装を選ばせる
ところもあるそうです。だ
から男の子がシンドレラの
ドレスを着ても全く問題な
し。日本も少しずつでもそ
うなれば、子どもたちも違
和感なく遊べるようになる
と思います。

◆**立部** 昨年度からLGBT
について子どもたちと一緒
に勉強していますが、子ども
たちの方が、個性として認め
るという感覚が高いですね。
それから、私の学校は男女混
合名簿を使っていますが、他
の中学ではなかなか取り入



当事者を取り巻く最近の状況について尋ねる古川さん

◆**山本** 私は昨年研修を受け
てLGBTのことを初めて
深く考えました。人間はい
ろいろな形で生まれてきて
全くおかしくない。1万人
いれば1万人の性があるの
が当たり前だとみんなが意
識すれば、違ってくるん
じゃないでしょうか。

職場のこと、制服のこと

◆古川 原さんは社会人になって、例えば職場の上司から「こういう配慮をした方がいいだろうか」など聞かれたりしましたか。

◆原 僕は就職試験の面接の時に、戸籍上は女性でこういう生活をしているということ話を話したんですね。そして数日後に電話があった、あなたを採用したいがどういった配慮が必要なのか聞かせてほしいと言われたので、働く前に上司と話をしました。制服の問題とかトイレの問題とか。

◆立部 来年度開校する伊万里実業高校が、女子も制服にスラックスを選べるようにしますね。本当にやっという感じですけど、男子はズボンで女子はスカートという概念が、ここ数年で変わってきています。

◆原 特に、学生からの相談では制服の問題はよく聞かれますね。僕も制服のことでは悩んできたので、今の子どもたちに選択肢が広がって、悩みが少しでも減ればいいと思います。



来年度から伊万里実業高校となる伊万里商業高校でのLGBT学習会の様子

レインボーとアライ

◆村上 私は伊万里駅にお店を出していますが、LGBTのマーク（レインボーアイテム【※】）を店舗に掲げたりする意味は何でしょうか。

◆原 あのマークがあるだけで、僕らにはうれいし、安心しますよ。「アライ【※】」ですよ。理解してますよってこういう意思表示なので、それがあのお店とないお店では、やはりあるお店を僕は選んでいますよ。

部屋探しの苦勞

◆村上 なるほど。もう一点、まちづくりでは『住む』という視点も大事ですが、同性同士だったらアパートが

借りられなかったりするんですか。

◆原 実際のところそうですね。渋谷区のようなパートナーシップ制度があればいいんですが、同性だと世帯として認めてもらえないので、「この部屋はルームシェアできないんですよ」って言われたりします。

◆村上 健崎さんは学生さんですが、そういうところはどう思いますか。

◆健崎 アルバイト先で部屋を紹介することがありますが、その時には相手がLGBTかどうかにかかわらず、言葉には気をつけますね。女性だから2階やオーロック、男性は気にしない方がいいと言わないなど。

※レインボーアイテム
レインボーフラッグ（虹色の旗）がLGBTの尊厳と社会運動を象徴することから、レインボーカラーのアイテムを身に付けたり掲げたりすると、LGBTを理解していることを示すことができる。

※アライ
「理解者、同盟」を示す英単語 Alliance（アライアンス）から来ている言葉で、「LGBTを知っているよ！味方だよ！」と思ふ人のこと。

でも、他のスタッフはそこまでは意識していないので、やはり一人では限界があるなど感じます。

一人では難しい
でもみんなで

◆古川 一人では難しいですが、小さなコミュニティから、例えば、まちづくり伊万里さんのような団体から何かを発信するというのは、今後に良い影響があると思うんですが。

◆村上 そうですね。やっぱ働く場所や住む場所、買い物する場所などが一体とならないと、一人一人自分らしく生きられるまちにはならないということですね。LGBTの人たちが来やす



原さんと健崎さんの体験談に熱心に耳を傾ける参加者

ようなまちづくりという可能性を見つけました。

◆古川 気付かないけれども、当事者が身近にいるかもしれないという意識を常に持つことを、大事にしていきたいですね。

◆原 いろんな立場の人たちと少人数で話をするという機会は多くなかったのですが、今日は僕らの活動を続けていくうえで皆さんのヒントをいただきました。今後、さまざまな立場の人たちと協力しながら、いい方向に進めていけたらうれしいです。

性のあり方は
人それぞれ

LGBTに社会の関心が向き、人々の意識も少しずつ変わってきていることは、当事者も、そうでない人たちも、感じているようです。

しかし一方では、心ない発言やインターネット上の誹謗中傷などで、深く傷つく当事者がいることも事実。原さんの「今は声を上げて変えていく時代だ」という言葉のとおり、根気よく「性はそれぞれ」であることを訴えていく必要があります。

LGBTが直面する困りごととは？

対談でも出てきましたが、LGBTの人はさまざまな場面で困ることがあります。その一例を紹介しますので想像してみてください。

学校では

- 体は男子で心は女子なのに、男子の制服を着ることを強要される
- 男女別トイレしかないため、体の性に合わせたトイレしか使うことができない

職場では

- 周囲にカミングアウトし、理解を得ても、異動や転勤など、周囲の環境が変わるたびに、自分のことを説明しなければならない
- カミングアウトできない環境にある

家族や友人関係では

- 自分の本当の思いや状況を打ち明けられない
- ありのままの自分が家族や友人に認めてもらえないのではという恐れと不安を抱えている

パートナーについて

- パートナーが入院し面会謝絶になっても、親族として認められないため面会できない
- ※日本では同性婚が法律上認められないため

ワードに気をつけて！

～こんな言葉は
言わないようにしましょう～

- 気にし過ぎじゃない？
- そんなの大したことないよ
- 辛いのはあなただけじゃないから
- まだ、○○って決めつけなくてもいいんじゃない？
- 他の人も我慢しているから、あなたも我慢しなきゃ
- 卒業まで○年の辛抱でしょ
- そんなんじゃ、社会に出てからやっていけないよ

尊重する姿勢が大切

- 「言ってくれてありがとう」と言いましょ
 - まずは黙って相手の話を聴きましょ
 - 簡単に決めつけたような発言はしないようにしましょう
 - 本人の了承なく、周りの人に暴露しない！
- 『アウティング』は絶対にダメ**
- 相手が何に困っているかを聞きましょ
 - 最適な対応は、一人一人違います

LGBTであることを告白されたときは、どのような対応をしたらいいか知っておくことが大事です。あなたの言葉で相手を傷つけないために。

カミングアウトを受けたときは…

今日からできること

困りごとを解決することも大事ですが、まずは、相談できる人がいること、相談できる環境にあることが大切です。アライの意識を！

- 広報紙や学校だよりなどでセクシュアルマイノリティについてお知らせする
- 「男だから○○」「女だから○○」という言い方や見方をしない
- 「いつかは結婚するんだから」「親になったら…」など、誰もが結婚や子育てをすることを前提とするような言い方をしない。生き方は自由であることを伝える
- 笑いのネタにしない。している人がいたら注意する
- 『彼氏』『彼女』ではなく、『パートナー』など性別を限定しない言葉を使う
- セクシュアルマイノリティに関する本や資料などを保健室や図書館、教室などに置く
- 6色のレインボーアイテムを、身に付けたり置いたりする

特にアピールをしなくても、ただLGBTの人がいることは当たり前だと認識するだけでも、アライです



本の紹介

市民図書館で借りることのできる、LGBTに関する本を紹介します。理解を深めるため、まずは1冊読んでみてはいかがでしょうか。

『LGBT』って

なんだろっ？
合同出版

LGBTの学生50人以上の声を掲載。セクシュアリティの基礎知識を分かりやすいイラスト付きで解説。

『ゲイのボクから伝えたい「好き」の？がわかる本 みんなが知らないLGBT』

石川大我／著
太郎次郎エディタス

ひとくくりにされがちなセクシュアリティの違いや抱える問題など、LGBTについて分かりやすく説明してあります。思春期の10代の子もたちに読んでほしい入門書です。

LGBTを

知っていますか？

星野慎二ほか／著
少年写真新聞社

巻末ワークシート付き。セクシュアリティの基礎知識から抱える問題まで、四コマ漫画などで分かりやすく解説。教育現場の実例も紹介されています。

『職場のLGBT読本…「ありのままの自分」で働ける環境を目指して』

実務教育出版

社内研修や人事部の入門書として。企業や行政の取り組みの実例もあり、セクハラ、福利厚生など実務的な提示がされています。巻末に基礎用語集付き。

『タンタンタンゴは

パバふたり』

ジャスティン・リチャードソン & ピーター・バーネル／文
ヘンリー・コール／絵
ポット出版

動物園のペンギンたちは、毎年決まった季節になると女の子のペンギンと男の子ペンギンがお互いを意識し始め、気持ちがあひつたり合うとカップルが誕生します。ところが、二羽のペンギンはちよつぱり様子が違っていました。名前はロイとシロ。どちらも男の子でいつも仲良〜一緒に。ロイとシロは仲間をまねて石で巣を作ります。いつも一緒のロイとシロは、ある日自分たちでできていないことに気づきます。それは……。これは本当のお話です。

相談窓口

- 県相談専用窓口 県DV総合対策センター
毎月第2日曜日、第4水曜日
午後2時~4時
☎090-1926-8339
※相談は、LGBT支援団体 ^ア ^オ ^ア ^ク ^ア
のスタッフが応じます。
- 市男女協働推進課
土・日曜日、祝日を除く日の午前8時30分~
午後5時15分
☎③2115
※専門相談員はいませんが、何ができるかを
一緒に考えます。秘密は厳守します。
- 佐賀LGBT支援団体 AO*AQUA
公式ホームページ
<https://aoaqua-niji.jimdo.com/>
メールアドレス
kagayake.niji@gmail.com
Twitter @aoaqua-niji
公式LINE @kgh9121xで友達追加

一人一人の『自分らしさ』を尊重しましょう

私たちが「いまりプラザ」は、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指して、講演会やワークショップを開催するなど、啓発活動に取り組んでいます。活動をを通して、人の考えが多様なように性のあり方も多様であると感じています。

ではなく、その人が「自分らしくありたい」という気持ちや行動を認め、一人一人の違いを尊重する気持ちを持つことが、誰もが自分らしく暮らせるまちの実現につながると思っています。

私たちの周りにも、自身の性について、悩んでいる人がいるかもしれません。「女だから」「男だから」という枠の中に当てはめるの



市男女協働参画懇話会
「いまりプラザ」会長
川原 フジエ さん